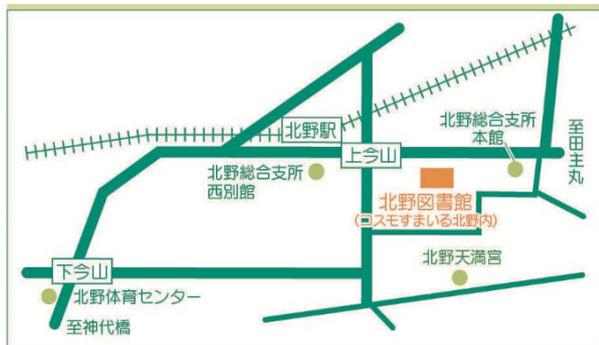




# コスモすだより



2023年度11月号



**北野図書館**  
 (コスモすまいる北野内)  
 住所 〒830-1113  
 北野町中 3253  
 電話 0942-23-1151  
 FAX 0942-23-1155

久留米市立  
 中央図書館  
 ホームページ



## 【秋の夜長に読書はいかがでしょうか】

今年で77回を迎える読書週間(10月27日~11月9日)の標語は『私のペースでしおりは進む』です。読書の秋・芸術の秋・スポーツの秋・実りの秋等、何をするにしても過ごしやすい季節になりました。北野図書館では、10月7日(土)に開催した「第2回秋のおはなし会」を皮切りに、11月22日(水)までを「読書強化月間」と位置付けて、様々な取り組みを行います。図書館内の特設展示場には、『とびだす絵本大集合!』『読書バリアフリー』『高校生のおすすめ本』『図書館職員のおすすめ本』等を展示します。また、11月5日(日)の10:00~12:00、視聴覚室において「リサイクル古本市」を行います。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

## 【北野シネマ館 (子ども向け)】

11月19日(日)11:00~12:30、視聴覚室において『小公子セディ』の上映会を行います。心優しい少年セディの純真な気持ちが、だんだんとおじいさんの閉ざした心を開いていく…。申し込みは不要です。直接会場へお越しください。

## 【11月 特設展示】

- <一般向け> 『手塚治虫特集』『読書バリアフリー』『図書館職員のおすすめ本』
- <YA向け> 『高校生のおすすめ本』
- <児童向け> 『ちいさい秋みつけた』『とびだす絵本大集合!』

## 11月予定

開館時間(火~日) 10:00~18:00

休館日: 月曜日、第4木曜日

| 日                     | 月         | 火  | 水             | 木                      | 金                        | 土               |
|-----------------------|-----------|----|---------------|------------------------|--------------------------|-----------------|
| 秋の読書週間 10/27~11/9     |           |    | 1<br>ブックスタート  | 2<br>新刊受入              | 3                        | 4<br>11時~おはなし会  |
| 5<br>10時~<br>リサイクル古本市 | 6<br>休館日  | 7  | 8<br>ブックスタート  | 9<br>新刊受入              | 10                       | 11<br>11時~おはなし会 |
| 12                    | 13<br>休館日 | 14 | 15<br>ブックスタート | 16<br>新刊受入             | 17                       | 18<br>11時~おはなし会 |
| 19<br>11時~<br>北野シネマ館  | 20<br>休館日 | 21 | 22<br>ブックスタート | 23<br>新刊受入<br>休館日 館内整理 | 24<br>11時~<br>どけっこうおはなし会 | 25<br>11時~おはなし会 |
| 26                    | 27<br>休館日 | 28 | 29<br>ブックスタート | 30<br>新刊受入             |                          |                 |

※ 北野図書館におけるブックスタートは、第1水曜日 13:30~14:30 は育児相談あり、第1以外の水曜日 10:15~11:45、14:00~14:30 は育児相談なしです。いずれも予約不要です。直接会場へお越しください。



## 一般書

### 『師匠はつらいよ』

杉本 昌隆／著(文芸春秋)



史上最年少で八冠を達成した、藤井聡太の師匠である著者。藤井聡太や他の弟子たちのこと、将棋界のあれこれをユーモラスに書いたエッセイ集です。

先崎学(将棋棋士)との対談も収録されています。

## 一般書

### 『777 トリプルセブン』

伊坂 幸太郎／著  
(KADOKAWA)



とびきり不運な殺し屋・七尾、通称「天道虫」。彼が請け負った仕事は超高級ホテルにプレゼントを届けるだけの簡単な仕事のはずだったが……。

『マリアビートル』から数年後の殺し屋シリーズ最新刊。

## YA

### 『3年間ホケツだった僕がドイツでサッカー指導者になった話』

中野 吉之伴／著(理論社)



野球少年だった著者は高校からサッカーを始めた。何かがうまくなかったり、ホケツだからといって全ての道が閉ざされるわけではない。

現在はドイツでサッカー指導者をしている著者が送る、自分らしく生きていくためのヒントがこの中に。

## 児童書

### 『6+1の不思議』

斉藤 洋／著(講談社)



小学校を卒業して50年以上たって、当時の同級生から突然電話がかかってきた。同級生6人で集まり子ども時代に体験したちょっと不思議な話をしていくことになった。不思議な100円玉を拾った話、突然現れた少年と亀の話など全6話。

## 児童書

### 『チーム紫式部!』

楠木 誠一郎／作(静山社)



世界最古の恋愛小説といわれる「源氏物語」を書いた紫式部(香子)。

香子は宮中で起こる日々の出来事や恋の話を元に「源氏物語」を書き上げました。

その誕生秘話が面白おかしく描かれています。

2024年度NHK大河ドラマとしても注目されています。

## 絵本

### 『ピースケのいえで』

たかどの ほうこ／作  
(童心社)



のぶちゃんとあそんで、いえにかえると、のぶちゃんのぬいぐるみのうさぎのピースケがみどちゃんのてさげのなかに……。

のぶちゃんにおこられるとおもう、みどちゃん。

ピースケがやってきた、ほんとうのりゆうはぬいぐるみたちだけがしています。